



## 喜多 祭の

新年明けまして  
おめでと〜ございます

謹みて新年の御祝詞を申し上げます。  
本年も皆様のご健康とご多幸、そして更なる  
弥栄あらん事をお祈り申し上げます。

網敷天神社 宮司 白江 歌子  
禰宜 白江 秀知

## とんど祭のご案内

本年も例年通り大阪市北区神山町の御本社にて、昨年一年間お見守り頂いた御札や御守、そして新春のお飾りを焼納し、一年間の無病息災を祈念する「とんど祭」を斎行致します。

なお、例年、御火焚場にしめ縄や古い御守などの燃えるもの以外に、ビニール製のものや、陶器類、ミカン、餅などの燃えないものを投げ入れるケースが目立っています。これは燃えない上に、ダイオキシンの原因となり、職員が取り外しに四苦八苦しています。必ずご家庭で外されてから、お持込ください。伝統あるとんど祭をこれからも維持出来るよう、皆様のご協力をお願い致します。

- ・平成二十年一月十五日 御本社境内にて
- ・午前八時より午前十時頃まで御火焚行事

御火焚受付は午前十時まで。

御旅所での受付は前日十四日まで。

## 初詣の作法

- 一、手水舎で手や口を清めます。
  - 二、本殿前に行き鈴を鳴らします。
  - 三、願いを込めて二礼二拍手一礼で参拝。
  - 三、その後、御札や御守を受けましょう。
- 一月の二十四節季

日本には春夏秋冬の四季がありますが、この四季を太陽の運行に基き、現在の暦とも合わせて更に細分化したものが二十四節季で、一ヶ月を二季に分けています。

この一月には小寒(しょうかん)と、大寒(たいかん)という名の二季があります。

小寒とは一月五日頃から大寒までの時期で、冬至に比べ少しずつ日照時間が延び始めるとはいえ、放射冷却によって却って寒さが増す時期とされます。またこの小寒の日は「寒の入り」ともいい、この日から節分までを「寒中」といい、いわゆる寒中見舞いを送付する時期とされます。

大寒は一月二十日頃から二月の立春までの時期で、一年で最も寒い時期とされますが、フキのトウなどが芽を出し、地中の草木が少しずつ春の訪れを告げる時期でもあります。この一月は寒中の中にも春の訪れを予感させる「増ゆ(ふゆ)」の季節といえそうです。

## 神社携帯サイトのQRコード

ドコモ、ソフトバンク、  
au、モバイルPC 対応



編著 網敷天神社 禰宜(神主)

白江 秀知

